

のあ インターナショナル スクール通信 1月号!

2017. January

Vol.122

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982

FAX:045-895-3761

メモント・モリ

サッカー専科 佐藤賢二

十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。(第1コリント 1:18)

「メモント・モリ」という言葉がある。ヨーロッパに伝わることわざで、「死を覚えよ」「自分がいつか死ぬことを忘れるな」という意味のラテン語だ。

まだ若い小中高生に「死を覚えよ」と言っても、ピンとくるはずがない。しかし、これは小学生にとってもリアルな話なのだ。考えざるを得ない出来事があった。まだ若すぎる一人の身近な小学5年生の女の子が、突然この世を去ってしまったのだ。楽しみにしていた遠足中に、突然頭痛と吐き気がして倒れこみ、そのまま脳死状態となってしまった。原因不明の脳内出血だった。そして4週間後にその体も天に召されていった。まだ11歳と6ヶ月のいのち。エスペランサで関わっていた、将来の夢も希望もある、とても親しくて大切ないのちだった。

今の日本に生きる私たちは、普通、あまり「死」を自分自身のこととして実感を持って過ごすことはない。食料はあふれていて、飢餓状態になることはない。社会は安定していて、戦争状態になることもない。医療は充実していて、すぐに手厚い治療を受けることができる。身近な人が家で息を引き取ることはほとんどなく、生々しい遺体と接する機会もあまりない。「死」は、私たちにとって身近なものではない。

しかし主は時々、「なぜ」と問いたくなるような「死」の現実を目の前に突きつけることがある。愛する者の死。大規模な自然災害による多数の死。異常犯罪やテロによる死。伝道者の書には「生まれるのに時があり、死ぬのに時がある(3:2)」とある。そして、「神のなさることは、すべて時になんて美しい(3:11)」と描かれている。しかし、仮に「すべて時になんて美しい」のだと信仰によって受け止めることが出来たとしても、これらの一つ一つにはっきりとした、私たちの頭で納得できる理由を見出すことは難しい。上記のみことばに、続けて「しかし人は、神が行われるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない(3:11)」と書かれている通りだ。

もし、一つ私たちの側で理由をつけるとするならば、これは神が、私たち自身が自分の「死」をリアルな現実として考えるきっかけとして、与えられたものだと考えることができるだろう。やがて私も、いつになるかは分からないが、この地上での生涯を終える時が来る。そして誰であっても100%必ずいつかこの地上での生涯を終えて死ぬことになる。それは、何十年も先であるかもしれないが、明日である可能性もあるのだ。であるならば、私は今日という日をどのように生きるべきだろうか。今日が人生最後の日だったら、私は何をすべきだろうか。「死」を考えると、今与えられている「いのち」を考えることでもある。

漠然とした将来への不安を抱えながら、環境や境遇に不平不満を言いながら生きるのか。それとも与えられている恵みに目を留めて、感謝にあふれ、喜ぶことを選び取り、惜しみなく与え、誰かに喜んでもらうことを選び取るのか。それは私たちの選択にかかっている。そして、十字架の主こそが私たちにその力を与えてくださる。

イエス様ほど、自らの死について深く考えながら生きてきた方はいないだろう。イエス様は十字架で死ぬために生まれ、そのみこころを意識しながらこの地上での生涯を歩んで下さった。そして、十字架で私の罪の問題を解決し、復活により死に勝利して下さった。イエス様の十字架は、信じない人にとっては何の意味もないだろう。しかし、信じる私たちにとっては神の力そのものだ。「死を覚える」とは、イエス様の十字架の意味を深く思うことだ。そして、それによって私に与えられた命の使い方について考えることでもある。

どんなに若くても、そのことを知っている人の歩みは力強い。ともに主の力をいただいて、与えられたいのちを輝かせるものでありたい。

1月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1日 元日	2日 振替休日	3日 A先生誕生日	4日	5日	6日	7日
8日	9日 成人の日	10日 2限から通常授業 ・昼食開始(1限:HR) 高等部入試一次 願書受付開始	11日	12日 Rくん誕生日	13日	14日
15日	16日 委員会活動	17日	18日	19日 お母さんクラス (13:15~14:30)	20日	21日
22日	23日 クラブ活動	24日 C先生誕生日	25日	26日	27日	28日 第5主日食事準備
29日 第5主日食事奉仕 Tくん誕生日	30日 家庭学習の日	31日				

- * 10日(火)より、2017年度高等部入試一次願書受付が始まります。普通科・専科とも入学希望者があるよう、お祈りください。
- * 19日(木)、お母さんクラスがあります。毎月第3木曜日13時15分~14時30分です。木島浩子師よりメッセージをうかがい、分かち合いなどをします。お母さま方には、必ず参加していただけることを願っています。
- * 29日(日)は、第5主日食事奉仕の日です。前日の仕込み作業もあります。収益は全てスクールの運営資金に用いられます。保護者・スタッフ等スクール関係者皆で奉仕したいと思います。当日・前日、生徒の皆さんも奉仕をします。(翌30日(月)は家庭学習の日です。)ご協力をお願いします。

お願い・ご報告

- 明けましておめでとうございます。今年も、主によって皆さまの健康が守られ、支えられ、各ご家庭の上に主の祝福が豊かに注がれますようにお祈りいたします。どうぞ、よろしくお祈りいたします
- まってるふれあいコンサート、イルミネーション点灯式、スクールクリスマス会等、12月の活動・行事は、皆さまのお祈り・ご協力により、主の守りの中一つ一つが祝福のうちに終わりました。
- 12月25日のクリスマス礼拝で、Rくん、Yくん、Sくん、卒業生のRくんが受洗しました。受洗した皆さんを通してさらに祝福が広がっていくことを期待し祈りましょう。
- 小学部は、クリスタルチャペル周辺の木の実や枝でクリスマスリースを作り、12月に販売しました。10,100円の収益があり、すべて被災地支援として、石巻オアシスチャペル会堂のために献金することができました。
- 12月26日(月)~29日(木)に行われた、本郷台キリスト教会中高生科の宣教旅行「石巻ミッショントリップ」にスクールから5名が参加し、奉仕しました。とても良い体験になりました。お祈りに感謝します。
- 3月11日(土)、10時から、クリスタルチャペルにて、岩上真歩子氏(臨床心理士、東京都・福島県スクールカウンセラー)をお迎えして、「家族の中で子を育てる」というテーマで、子育て講演会を行います。皆さま、スケジュールを調整していただき、期待してご参加ください。
- 来年度に向けて準備が始まってまいります。新入生が多くあるように、またスタッフも加えられ、カリキュラム等、準備が整えられるようお祈りください。

祈禱課題

1. 昨年与えられた神の祝福がスクール関係者すべての上に広がるように。
2. スクール生がみことばによって成長していけるように。
3. スクールの経済が守られ、若いスタッフが与えられるように。
4. どの学年も生徒が増やされていくように。
5. スクールの存在が地域に良い影響を与え、必要な方に届いていくように。

今月のみことば

今月の暗唱聖句は、ヨシヤ1:9、ヘブル12:2、創世記28:15、イザヤ38:5 です。

今年度は1週間ごとに1か所の聖句を覚えるようにチャレンジします。できる人は英語、スペイン語、手話等、いろいろな言語でもチャレンジしていきます。お子さまを励ましてあげてください。また、ご家庭でもぜひ暗唱してください。

また、水曜日は毎週、火・金曜日は隔月で、チャペルにて合同礼拝を行いますので、保護者の皆さまもぜひご参加ください。共に 主に礼拝をささげましょう。